

CREATE
LASTING
IMPACT



入間南ロータリークラブ

2026.7~2027.6

IRUMA-MINAMI WEEKLY

— 持続可能なインパクトを生み出そう —

RI会長：オンラインカ・ハキーム・ババロラ 第2570地区ガバナー：原島 生慈

例会日＊火曜日（12：30～13：30）毎月最終例会日（18：30～19：30）

例会場＊入間第一ホテル 1階 会議室

事務所＊入間市高倉4-4-3 TEL 04 (2966) 1800 FAX 04 (2966) 1888

E-mail：minamirc@ictv.ne.jp

会長：高橋 一彰 会長エレクト：寺園 智樹 幹事：近藤 勝美 出席向上・会報・雑誌・R情報委員長：遠藤 好一

10号

第1872回例会

9月15日(火)

当番 花島 大祐君

■本日のプログラム■

月見家族例会

場所：ホテルメトロポリタン点鐘18:00

■9/15の例会のお客様■

高橋絵美様(同仁学院乳児院さまりあ)

高辻英恵様()

横田 修様(社会福祉協議会 事務局長)

飯野堅太郎様() 地域福祉推進課長)

■10/6例会プログラム■

卓 話

杉山公俊様(入間基地司令)

■会長の時間■

高橋一彰会長

まず社会福祉協議会様に寄付金をお渡しします。いつも有難うございます。是非お役立て下さい。卓話は乳児院さまりあの高橋さんから里親制度についてお話し頂きます。本日は職業奉仕について皆さんと共有したいと思います。例えば奉仕団体としてライオンズクラブ、JC等ありますが最もローターが特徴的な所はこの「職業」を重視している、という所にあります。ローターでは単にボランティア活動をする事だけを奉仕と呼びません。むしろ月曜日～金曜日迄の皆さんが其々本業で高い倫理観を持って素晴らしい製品やサービスを提供する事、それ自体を既に職業奉仕と呼びます。「あそこの社長はローターだから絶対に嘘をつかない」「仕事を頼んだら間違いない」「信頼して仕事を任せられる」そう地域社会から信頼される企業であり続ける事。そして自分の仕事を通じて社会の課題を解決する事、これこそがローターの目指す奉仕の姿であるという事です。皆様の日々のビジネスの現場こそが、最も尊いローター活動の実践の場です。毎日をローターンとして仕事に励み社会貢献に繋げていく、という事を再確認させて頂きます。本日も宜しくお願い致します。

■幹事報告■

近藤勝美幹事

①回覧

＊ 9/15(火) 会員増強会議「新しい仲間を迎える会」(庄や 18:30)

＊ 9/25(金) 月見家族例会(ホテルメトロポリタン 18:00～)

＊ 10/22(木) 入間 RC との合同ゴルフコンペ(武蔵 CC 8:30)

＊ 10/22(木) 入間 RC との合同例会(さくら草ホール 点鐘 18:30)

＊ 11/ 1(日) ポリオデー・スリーデー・マーチ(東松山森林公園 集合 9:00)

＊ 11/22(日) 地区大会(秩父宮記念市民会館)

＊ 6/ 26(土)～30(水) バルセロナ国際大会

＊ガバナー月信＊ハイライトよねやま＊フードバンクいるま活動報告

②諸報告

＊新入会員候補斗光様は本日迄異議がございませんでしたので入会手続きを行って参ります。

＊地区よりメーキャップデーとして推奨例会案内

＊今後 HP に会報 PDF が掲載されます。印刷される方はそちらからお願いします。

＊ 9/19(土)RLIパート1(本庄早稲田国際サチパーク 13:30～)

＊ 9/20(日)地区青少年交換帰国報告会(第2回オリエンテーション 13:30～)

＊ 9/26(土)・27(日)鼓童公演会(産業文化センター 太鼓パトは9/27(日)10:30～)

＊ 10/ 3(土)地区公共イメージ向上インスタグラム活用セミナー(越後川越 9:30)

＊ 10/ 4(日)いるまオクトバーフェスト RCC 参加(18:30～)

＊地区よりメーキャップデーとして推奨例会の案内が来ております。

＊次週例会は9/22(火)は取りやめ、次回例会は9/25(金)月見家族例会となります。宜しくお願い致します。

持続可能な
インパクトを
生み出そう



社会福祉協議会へ寄付金の贈呈



■御挨拶■



横田 修様

本日は貴重なご寄付を頂戴致しまして大変有難うございます。皆様には長年ご寄付を頂戴し福祉事業に使わせて頂いており深く感謝申し上げます。又、私どもが事務局を務めるこども食堂ネットワークの展開する KUROKO プロジェクト(お腹がすいた子どもをゼロにするプロジェクト)に様々お品物を頂き重ねて御礼申し上げます。皆様の温かいご支援は必要とする子どもたちに確実に届けられます。又、地域福祉活動の充実に活用させていただきます。お配りした資料は皆様をはじめ、団体・企業・市民の皆様から頂きました寄付、私どもの会員会費等の使い道を「ありがとうレポート」としてまとめたものです。是非ご覧下さい。昨年度は IAC・RAC にもお呼びかけを頂き福祉の繋がりが深くございます。今後とも宜しくお願い致します。本会事業に対しご理解、ご協力を心より感謝申し上げます。有難うございました。

■委員会報告■

寺園智樹会長

会員増強・職業分類・会員選考委員会

大野益利委員長

～会員増強会議開催について～

本日 18:30～庄やで新しい仲間を迎える会を行います。酒席となります。お車の場合は齊藤(定)会員の店舗駐車場をお使いください。

■卓話■

高橋絵美様

「地域で育む子どもの未来」

～里親制度から考える支え合いの地域づくり～



フォスターリングの語源は「フォスター:代替養育」、誰かの代わりに子どもを育てるという意味です。私たちは里親になりたい方への研修、制度の普及啓発活動、里親さんへの継続支援を担っています。子どもは本来家庭の中で育つ存在ですが、保護者の病気・虐待・経済的に困難等の事情で家庭では暮らせない子どもたちがいます。親だけではどうにもならない背景がある場合、親だから頑張るだけでは終わらせられません。社会が子どもの育ちを保障する仕組みを社会的養護と呼び、施設だけでなく里親家庭も含め、社会全体で子どもの生活と育ちを支えています。この全てには公費が使われています。埼玉県の前年度児童虐待相談対応件数は延べ 15,355 件。全国 4 位の多さで 1 日あたり約 43 件、30 分に 1 件のペースです。これは入間市の 18 歳未満人口約 18,000 人とほぼ同数です。この中で家庭で暮らせない子どもは約 1,700 人。乳児院さまりあはその中の 0～3 歳の子どもの行き場の 1 つです。その一つひとつに 1 人の子どもの命とその先の人生がかかっています。保護された子どもたちは、親から引き離され、知らない場所に連れて来られ不安で泣き続けます。安心出来る大人との関係をもう一度つくる事が必要です。里親フォスターリング事業は出来るだけ家庭に近い環境を子供たちに与える為の事業の 1 つです。里親といえば養子縁組のイメージが強いですが、養子縁組出

来る子は約 1 割で、殆どは代わりに預かって育てて頂いています。期間も数日間の短期～18 歳迄の長期等様々です。里親家庭も地域の中で暮らす一家庭です。里親さんの数を増やす事と、里親を支える地域を作る事はセットです。困った時に児童相談所だけでなく、里親制度を知っている身近な人が相談に乗ってくれる環境が大切です。又、里親になるだけが子どもを支える方法ではありません。社会福祉協議会のファミリーサポートセンターや、市役所のショートステイ事業(入間市では里親さんが担う地域で面倒をみる先駆的な取組みで他地域では児童養護施設に頼んでいる)等があります。子育てが行き詰まる前に誰かの手を借りられれば、子どもと家庭を守れます。制度だけでなく例えば近所の子どもの気づき声をかける、子ども食堂での支援、相談窓口を教える etc... これらも地域の支えになります。皆が同じ事をする必要はありません。私が助けるけれども、いつかは私が助けてもらう。そんな助け合いの循環が地域の中にあり、その繋がりがこそ子どもが育つ上で何より大切です。企業の中や地域の中にも里親制度を知っている人が増える事で里親という選択肢が社会の中で特別なものではなくとも思います。里親が特別なものでなくなれば、子どもを育てている様々な家族の形の 1 つとして地域で受け入れられる様になります。本日のお話を聞き、里親になってみたいという事でなくて構いません。もっと制度を知りたい、ファミポをやってみたい、会社で何か出来ないか考えたい等様々なご意見があると思います。アンケートがありますので屈託のないご意見を頂けますと励みになります。有難うございました。



■出席報告■ 出席率 65.22%



■ニコニコBOX■

宮 佳武 副 SAA

- ◇高橋 一彰君：同仁学院乳児院さまりあ様・社会福祉協議会様。ようこそお越し頂き有難うございます。
- ◇近藤君・寺園君：
- ◇鈴木 豊士君：今日も宜しく。
- ◇幡谷 玄秀君：脳梗塞起こしてから唯一の楽しみは RC に出る事。今年のズは不作です。ガマの穂が盛りです。
- ◇石川 伸一君：9/13(日)国立新美術館で開催されていた二科展に行ってきた。不破会員・鈴木会員の作品素晴らしかったです。